

55—3・4次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和55年4月

NO. 1

農 林 水 産 部 門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.9

SE

55-2

15105



55年3・4次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

(注) ジョモ・ケニヤッタ大学関係の要請内容は№3に収録しています。

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
101 稲 作	1	フィリピン	有	1	121 農業機械	1	タンザニア	有	46
	1	バングラデシュ	有	2		1	ガーナ	有	
	2	ケニア	有	3		1	ホンジュラス	有	47
	1	タンザニア	有	4		1	コスタリカ	有	48
102 食用作物	1	フィリピン	有	5	131 家畜飼育	1	パラグアイ	有	49
	1	フィリピン	有	6		1	フィリピン	有	50
	1	フィリピン	有	7		1	フィリピン	有	51
	1	フィリピン	有	8		1	フィリピン	有	52
10301 花 き	1	ホンジュラス	有	9	13105 養 蜂	1	フィリピン	有	53
	1	パラグアイ	有	10		3	シリア	有	54
10302 野 菜	1	フィリピン	有	11		132 養 鶏	1	パラグアイ	有
	1	フィリピン	有	12	1		フィリピン	有	56
	2	マレーシア	有	13	1	バングラデシュ	有	57	
	1	マレーシア	有	14	133 飼料作物	1	ガーナ		
	1	バングラデシュ	有	15		1	セネガル		
	1	バングラデシュ	有	16		1	シリア	有	58
	2	バングラデシュ	有	17		1	ガーナ	有	
	1	バングラデシュ	有	18	135 獣医師	1	セネガル		
	1	バングラデシュ	有	19		1	ホンジュラス	有	59
	1	バングラデシュ	有	20		1	シリア	有	60
	1	バングラデシュ	有	21		1	タンザニア	有	61
	1	エチオピア	有	22		2	ザンビア	有	62
	4	ケニア	有	23		2	ザンビア	有	63
	1	マラウイ	有	24		1	セネガル		
10303 果 樹	1	セネガル			14001 農業協同組合	1	パラグアイ	有	64
	1	ホンジュラス	有	25	14003 村落開発	2	ガーナ	有	65
	1	西サモア	有	26	150 普及食品加工	1	シリア	有	66
	1	バングラデシュ	有	27	160 森林経営	2	ホンジュラス	有	67
	2	バングラデシュ	有	28		1	マレーシア	有	68
	6	ネパール	有	29		1	マレーシア	有	69
	1	シリア	有	30	170 漁具漁法	2	ネパール	有	70
	1	セネガル				1	シリア	有	71
	1	パラグアイ	有	31		1	ガーナ	有	
	104 工芸作物	1	コスタリカ	有		32	1	コスタリカ	有
105 き の こ	1	ネパール	有	33	171 養 殖	1	トンガ	有	73
	1	シリア	有	34		1	フィリピン	有	74
120 農業土木	1	マレーシア	有	35		1	フィリピン	有	75
	2	マレーシア	有	36		1	マレーシア	有	76
	1	バングラデシュ	有	37		2	バングラデシュ	有	77
	2	タンザニア	有	38		1	シリア	有	78
	4	マラウイ	有	39		1	シリア	有	79
	1	ガーナ			1	シリア	有	80	
	1	リベリア	有	40	1	シリア	有	81	
	121 農業機械	1	フィリピン	有	41	1	シリア	有	82
		1	バングラデシュ	有	42	1	ザンビア	有	83
		1	バングラデシュ	有	43	180 水産物加工	1	西サモア	有
2		バングラデシュ	有	44	19001 農林統計	1	ガーナ	有	
3		シリア	有	45					

※ ガーナからの受入希望調査表は最後に収録されています。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

101 稲 作

調査者氏名 新井 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年 2月
	Storage Quality Control 米穀品質管理技術	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Agricultural Credit Administration (ACA)*
 (日本語): 農業信用協同

ロ. 隊員勤務先名称: *Compact Farms clusters* 日本語名称 ()
 所在地: *Baliwag Bulacan* 主要都市からの距離 (マニラより 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *Compact Farm* の出荷 (米) を玄米で貯蔵するための倉庫建設
 市場の動向に因って米を生産する *Rice Mill complex* を建設する
Complex の規模は 2122.24 の最終決定を行うこととしている。

ニ. 設備概要: *Rice Mill complex* に必要な設備 機械を設置すること
 している。詳細は別紙 (英文) 参照

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: *ACA* 所屬の技術者
 技術の範囲: 米の品質管理に関する全般的な知識
 業務の形態: *Rice Mill complex* 内の技術者に付する技術指導
 及び監督。

対象者及びカウンターパートの技術水準 号丁及び年令
 ; 具体的 *Counterparts* は、今後の決定に因って、尚決定
 を得ない技術指導を依頼している。

現地で利用している機械: *Rice Mill complex* は、これから設置しようとする
 あり、必要設備 資機材を整える予定。

職場に在りて働く日本人及び日米両内案の配置状況
 ; フィリピン人の *Volunteer* が全体の計画立案者として参画
 する予定

使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに於ける米の生産の増進に因り輸出が可能と
 している。その一つ柱として、*Compact Farm* に因り *ACA* の生産指導を
 受ける。今後の課題は、いかに有利に市場へ出たがる。そのための計画として
Rice Mill complex を建設し、玄米に因り貯蔵を可能としている。日本に於ける米の
 貯蔵方法を高く評価して、その技術を隊員に付する期待を込める。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

当該分野に於ける経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 12 日

101 稲 作

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 101 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Sugar and Food Industry Corporation
(日本語): バングラデシュ砂糖食品公社

ロ. 隊員勤務先名称: Sugarcane Research Institute 日本語名称 (甘蔗研究所)
所在地: パブナ県イシルディ郡 主要都市からの距離 (バダリ 25キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 研究部門として産作, 育種, 病理, 研究昆虫, 土壌肥料の5研究室に研究員8名が配置され, 他に事務部門として総務, 会計, 統計, 図書, 実験の各課を有す. 農場は約70町歩の耕作地を有し, 労働者約100名が従事している.

ニ. 設備概要: オーストラリア援助によるトラクター類, 事務所, 独身寮, 住宅完備.

(2) 隊員の業務内容: 昭和50年より3代の隊員により調査され, 結果を得た"リー-インターウロッピング"(甘蔗に対して前作・Pモソ稲と間作物・小麦, 菜種, 各種野菜類のリー栽培)計画を農民に普及する.

- ① 業務上の地位: 研究員としてのシニアエキスパート
- ② 技術の範囲: 稲作を主として野菜を加えた日本国内での一般的栽培技術.
- ③ 業務の形態: 研究および普及活動
- ④ 対象者及びカウンターパート: 最終的には対象者は農民だが, 研究員はある程度の技術水準にある.
- ⑤ 現地で利用できる機材: 不足のない程度完備している.
- ⑥ 現場におけるオーストラリア人: オーストラリア人甘蔗専門家6人
- ⑦ 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

甘蔗の作期は12~7月と長いので, 昭和50年に隊員により開始されたリー-インターウロッピング計画も3代の隊員に渡った. その新しい作付体系も普及させ, 農産物生産増進と甘蔗作付面積の維持が期待されている.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大卒以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 10 月 18 日

101 稲 作

調査者氏名

(C. J. A. V.)

S. EGUCHI

Shuji

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
ケニア	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始	年 月
	(日本語)		(女) 人	派遣予定
	RICE SPECIALIST 稲(米)作	(どちらでも可) 人	受入期限 <u>55</u> 年 <u>10</u> 月に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Agriculture*

(日本語): *農業省*

ロ. 隊員勤務先名称: *District Agricultural Office* 日本語名称 (*県農業事務所*)

所在地: *首都ナイロビより 300km 以上* 主要都市からの距離 (*ナイロビより 200km 以内*)

ハ. 事業規模及び内容: *来年度5ヵ年計画では農業と教育に重点が置かれているが、特に農業関係では輸出用作物振興の他米穀生産増50%が目される。各地スキムの増設と拡大に多額の資金が計上される見込みである。*

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: *隊員は自然浸水域、沼澤地、河川域等、他作物に不利で广域的にも取残され来に場所に米作を導入あるいは発展、拡大させ、地域開発の一助と見做す。県農業事務所を基とし、稲作振興に関する全々の技術的援助を行ない、事務的報告、処理を担当する。*

- ① 業務上の地位: *District Rice (Production) Officer*
- ② 技術の範囲: *米栽培の各ステージの管理指導は勿論、他作物についての知識も要*
- ③ 業務の形態: *technical extension, demonstration を担当(計画履行責任)*
- ④ 対象者・カテゴリー: *米作農民、隊員と農民の間にはインスティテュートの TA、その下に働く J.A.A がいる。TA、J.A.A を指導しうまく使うことも所望。*

⑤ 利用できる機材・組織: *県農業事務所にはこれとて農民に使用する機材はない。(demonstration 用として若干の機材はある)*
T.H.S (Tractor Hire Service), N.I.B (National Irrigation Board) M.P.B (Maize & Produce Board), Cooperative Society, S.S.I.U (Small Irrigation Units)
は組織としていろいろな場面で見られる。

- ⑥ 才力・日米専門家: *Provincial Irrigation Engineer (irrig 専門家), Cooperatives のピーサー*
- ⑦ 言語: *英語(標準的ラゲージ)。一般にはスワヒリ語。特殊地域では部族語等*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業省内では各地稲作プロジェクトについて、折からの米不足から日本人ボランティアに対する期待が大きくなり、食用作物課長、作物局長とも各プロジェクトに日本人ボランティアを強く推している。また、隊員の持つ技術の他、稲作発展に関する機材の導入による早急な開発を期待していることは事実である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

一応 (短大あるいは大学卒) に限る(作物専攻)、農業改良普及員資格、単車免許、経験年数は別に向わない。現地で学び、現地で普及させるに最良の方法を見付け出し、地域開発に最善策を思案できる者であれば可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和55年3月20日

調査者氏名 大西規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タニカニ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 55年10月
	RICE PRODUCTION	(女) 人	派遣予定 56年2月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと
(日本語) 稲 作			
(1) 配属先			
1. 配属先名称 (現地公用語): <i>National Agricultural and Food Corporation</i>			
(日本語): 農業食糧公社			
2. 隊員勤務先名称: <i>MBARALI Rice farm</i>		日本語名称 (ムバラリ稲作農場)	
所在地: <i>MBARALI</i>		主要都市からの距離 (ムバより) 156キロ	
ハ. 事業規模及び内容: 1959年FAOの協力で計画され開設されたパイロットファームである。大規模な灌漑設備を有し7日農産物の20%を生産している。作付内容は稲作2300ha、大豆500ha、トウモロコシ160ha、レトウネン212ha (1979年)。事務所、宿舎なども完備であり、現在365人の			
ニ. 設備概要: 現地人スタッフが揃っている。ほか大型のライスミルがあり、米、麦、小麦、中目製などのトウモロコシ、ライスハーベスターの農業機械が揃っている。			
(2) 隊員の業務内容: 現在主として4品種 (IR8, IR579, KILOMBERO, SURINAMS K2242) が作付けされている。他に日本種 (コシヒカリ、ニホンバネ、インカリ、フジミリ、トモコキ、トク2702) の栽培試験中である。			
・ 隊員の業務は寒冷期 (5月~9月) における日本種の試験栽培を中心に行うほか、稲作全般 (播種、除草、施肥、水利、収穫等) の管理、調整を行う。			
・ 現在同農場は3エントに別れ、各エントにはタニカニの年一がおり、そのうちの1人 MR. CHARLES MALLISA は1978年に10ヶ月間 JICA の内定でエントにおいて研修を受けており、隊員は同年一と協力して業務を行うことになっている。			
・ 同農場には現在中国人30名 (1969年から中国の援助が開始された。30名中通訳1名、稲作専門家4名が含まれている) 12人1名 (会計士) センガール人 (大工) 2名が活躍している。			
・ 使用言語は業務上現地人との係わりが強いのでスワヒリ語が望ましい。			
・ 器材については一通揃っているが、赴任時の携行は必要ない。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
先般日本政府から無償ベースで日本米が供与されたが、優秀な日本米に感謝した農業大臣が日本の稲作技術を是非普及してほしいと要請して来たものである。また現場では昨年から日本種の試験栽培が行われているが、技術上の不足から十分な満足を得る結果がでていないものの、協力隊員に寄せられる期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
○ 大卒 (農学部) ○ 稲作の実務経験2年以上			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

102 食用作物

記入昭和53年10月10日

神谷弘司

調査者氏名

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Food Crops	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 食用作物(採種) - B.C	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial State College
(日本語): ドンマリヤノマルコス記念州立大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)
所在地: Bacnotan, La Union 主要都市からの距離 約25キロ

ハ. 事業規模及び内容: ラウニオン州を中心として農業技術者、農業学校の先生、農家、農協、高校、大学部、短大部に在り。生徒総数約3500名、教師(パートも含めて)約120名である。農業科、農業教育科、畜産科、森林科、農業土木科等がある(農業関係のみ)
ニ. 設備概要: 十分には至らないが農業分野に關する設備は充分である。今年度予算 600万ペソ
他の学部は不明である。

(2) 隊員の業務内容:

state college の農業関係が主で 隊員は当該の高校部門の B.C 生徒と一緒に種子生産に當ります。
① 隊員の業務上の地位: テクニカルアドバイザー
② 技術の範囲: 野菜、稲、ユース、豆類の採種、種子生産、育種研究を行なう。
③ 業務の形態: 当該のラウニオン州(外に多少含む)の各種種子の供給源として BAE (農業局)、DPI (植物産業局) などに提供し、州内の種子増産に力をつける。学校の圃場 (Seed production) 用は 2ha 以内は当該の農家から提供される。2ha 以上は 1ha - 1.5ha 育種学校と生徒と一緒に採種、育種研究を行なう。
④ 対象者等: 校長 - 1人 (以上 1人 - Mr. Sio Apolinario (MSAC ABSAE 卒業生 (1973年) 本校に在籍している) 非常に親しく、隊員の活動の意味を十分に理解している。また、農業科の 500 名以上の生徒が 1人 - 1.5ha 圃場を持つ。
⑤ 現地の利用で種子採種: 一般農業器具、水灌漑等。
⑥ 取場に及ぼす影響: 無し。
⑦ 使用する言語: 英語。
なお、当該のラウニオン州予算は (1978年) 約 5000 万ペソ用立てられている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要員

ラウニオン州農業関係の関係者として、農協、農家、農協、隊員 (99% 前、稲作) が本業に携わっており、当該に種子採種に力をつけている。関係者から評価され、今回の派遣に期待している。今回は稲、野菜、一般作物等広く試験、調査することを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学(農学系)以上の人を希望する。特に育種、採種の方に精通していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 新保昭治

記入昭和55年 / 月 / 日

102 食用作物

調査者氏名 江橋信夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Food Crops	(男) / 人	訓練開始 昭55年10月
	(日本語) 食用作物(採種)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 昭56年2月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Office of the Provincial Governor, Davao*
(日本語): *知事室*
2. 隊員勤務先名称: *Integrated Agricultural Development Provincial Seeds Production Farm* 日本語名称 *農業総合開発州種子生産農場*
所在地: *Provincial Seeds Production Farm, Davao Oriental* 主要都市からの距離 *ダバオより176キロ*
3. 事業規模及び内容: *Davao Oriental* 小規模農業開発の中心として普及用種子生産に現在 *1ha* の常時雇用労働者を使用。この農場は *Demonstration* も兼ねる。他に、家庭飼育も行う予定。
4. 設備概要: *Town House* *Carabao* 2頭

(2) 隊員の業務内容: *Integrated Agricultural Development Provincial Seeds Production Farm* にて種子生産を行う。現在トウモロコシ、落花生、大豆、緑豆、バナナ、トマト、ナス、サヤ豆、ニガウリ、西瓜、カボチャ、アボカド、トウモロコシ、アワ等

栽培中 *4ha* の耕地の経営及び維持を考へている。5年計画の5年目には自己運営(独立採算)を以ていくことを目標。地位は *Consultant*。技術的、種子生産と指導も兼ねる範囲。5年以内 *1ha* に拡大。家畜の飼育も行う予定。この(広範囲)の育成を求めている。農場には2人の労働者と *BPI (Bureau of Plant Industry)* の技術者(大豆カウンタート)と *Provincial Assistant Agriculturist* が担当に当たっている。当然 *Office* 周辺の仕事も大く必要。また農場指導に当たっては現地語 (*Cebuano*) が必要である。種子生産について、当地での経験が重大の意味をもっている。この *Extension* も同時に行う予定。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 江橋信夫隊員5年前期組の交替要請。

この国における野菜技術普及は、1973年金沢隊員に引継ぎ技術的の幼年期にある。2人しかいない技術者不在もあり、当 *IAD* が持つ当州農業発展に対する力は大きい。よって *JICA* 隊員に対する期待は大で、責任も重いものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大卒以上。
2. 英語(英作)に堪能。
3. 農業全般に対する経験を有する。
4. 可能ならば、熱帯農業経験者であるシニア隊員の方が多い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 17 日

102 食 用 作 物

調査者氏名 新 保 昭 雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Food crop science	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	食 糧 作 物		

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial polytechnic state collage
 (日本語): ドンマリアン マルコス 記念州立工科大学
- ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同 上)
- 所在地: Cagayan de Oro Misamis Pass 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

農学科の設立後日已済り、農学全般に亘る教育と実施に
あり、学生数の増大と、教授陣の充実に亘り、専攻コースを設置

ニ. 設備概要: 1 棟 1 階 1 室。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: Teaching staff に付了指導技術者

技術の範囲: 食用作物に關する中心知識の要請されると同時に
農場での Demonstration に必要の技術が必要

業務の形態: 工場内に於ける技術指導

対象者及びキャリアポートの技術水準: 学生及び各年令
直接に生徒を教えることではない。Counterparts の
25歳~40歳程度の教員及び農場技術者である。農業
全般に亘る知識と比較的豊富であるが、実際面での
技術水準は低い。

現地の利用すべき機械: 一般の耕作機具有るが、隊員の Remenstration の
内容に亘り機械を準備する必要がある。

使用すべき言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本に於ける農村農業に學ぶこと者が多し、又設立日已済り農学科の
整備拡充のため、是非協力の隊員に於ける協力が欲しいとの強い期待がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学系工学生、経験 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 新保昭治

102 食用作物

記入昭和 55 年 1 月 15 日

調査者氏名 高橋 聡

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Food Crops (日本語) 食用作物	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Palawan (パラワン島)			
1. 配属先名称 (現地公用語): Bagong Pag-Asa Foundation (puerto)			
(日本語): バゴン・パガサ 財団 (Princesa)			
ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (新しい希望の財団)			
所在地: Quezon Palawan 主要都市からの距離 (カルタヨリ 154 キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 500万 pesos の基金を持って 1000ha の原始林 (山内) 地に現在 60 家族を入植させ、25 年向入植者の支機と独立を目指している			
ニ. 設備概要: 事務所、精米所、機械類格納庫、宿舎 (従業員用)、ゲストハウス、米貯蔵庫、製材所、畜舎、教会、小学校、等が整っている。			
(2) 隊員の業務内容: 上記ハ. の計画に基づき、1974 年よりプロジェクトをスタートさせ、現在登録されている入植者は 59 家族 (それ以外の入植者もいる) 水田 7ha、牧草地 2ha、畑作 3ha、牛 20 数頭、豚 (撃死用)、山羊が飼育されている			
① 業務上の地位 → 技術スタッフとして勤務する。B.P.F. 及び入植者に技術指導			
② 技術の範囲 → 水稲、野菜、陸稲、食用作物 (corn, ポテト等) バナナ、ココス、ゴシヨウ (ビメンタ)、キャッサバ、モロコ、家畜飼育等の指導			
③ 業務の形態 → B.P.F. 及び入植者へのデモンストレーション実施、及び経済的な農業指導			
④ 1974 年 11 月より Mr. Vicente L. Morales (フィリピン大学農学部 UPLB 卒) 35 才がボランティヤとして勤務したが今年に入りスタッフのメンバーに加わった。彼との共同作業と共に JOCV 独自の活躍			
⑤ 職場にはオーストラリアの技術者がいる。			
⑥ 使用言語 → タガログ語と英語の混合、ほとんどの B.P.F. 従業員は英語を解読、入植者も喋ることはできないが聞くことのできるというのが多い。(英語が中心となっている)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: B.P.F. スタッフ及び従業員は、全て、ビコール出身 (フィリピン南部地域) でビコール時代の JOCV O.B. 隊員の活躍をよく知っており、B.P.F. の責任者が州知事を通じて要請、当面の期待は、彼らに現金収入となる農業、自給自足できる状況をつくりあげることにある。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 理論と実践と実行できるにこしたことはないが実践が重要視される。農業 (特に野菜、水稲、家畜) 一般の知識と経験があること、(農業大学卒業又は農業講習所卒) (4-ムワ-7 まで働ける人) B.P.F. は農業分野だけでなく、ジープ、トラック、トラクターの運転、又、スタッフ会議における新しいアイデア等、向んでも厚い人に通している。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 13日

10301 花 ぎ

調査者氏名 岩永 等

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンジュラス	(現地公用語) Floricultura (フロリカルトゥラ)	(男) 1人	訓練開始 55年 8月
	(日本語) 花き栽培	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministerio de Recursos Naturales*
 (日本語): 天然資源省 *Zona Centro Oriental, Sub-direccion de Tegucigalpa*
 ロ. 隊員勤務先名称: *Direccion Agricola Regional* 日本語名称 (中東部農政局テグシカルパ支局)
 所在地: *Tegucigalpa D.C. (テグシカルパ市)* 主要都市からの距離 (より キロ)
 ハ. 事業規模及び内容: 中東部農政局はテグシカルパ市のあるフランシスコ・モリカン県とタマリ市のあるパライヤ県の2県を担当し、本局はタマリ市にあり、支局がテグシカルパ市にある。事業内容は物販にわたるがテグシカルパ支局は主に農業普及業務とし、職員は約30名である。
 ニ. 設備概要: テグシカルパ支局は事務所がテグシカルパ、支事務所がタランカ市にあり、テグシカルパ市内に、サンホセ果樹試験場、バジエ・デ・マニレスに花卉プロジェクト試験場がある。

(2) 隊員の業務内容: ①バジエ・デ・マニレス花卉圃場の経営, と ②, 花卉栽培農家への技術指導, ③新規栽培農家の開拓 が主なる業務である。

① 実際上の花卉圃場長であり普及業務にては農業普及員である。圃場は約2.5haの面積であり、天然資源省が一年毎の契約で土地を借用している。圃場建設は協力隊支援経費で行われ、常駐労働者は2名、仕事に携わサンホセ果樹圃場より最高5名までの労働者の応援を得られる。② 主要切花(キク、電照を含む、カーネーション、グラジオラス、バラ、アリス)及び鉢物(日本で一般的なもの)の栽培技術、繁殖技術。③ 花卉圃場の新種導入、試験栽培、好適種の選抜と栽培農家への普及、指導、圃場は繁殖圃場であり導入花卉のパイロット、デモンストレーション圃場の役割も果たす。実際には普及業務の前段階として栽培家を圃場に招き栽培手順、手法を見せる。その後生産資材(種苗)を低価格にて分譲し、指導する。④ 対象者は最低。⑤ 試作した主要切花の栽培、繁殖技術に習熟していること。カウンターパートはテグシカルパ支局長が自らその任に当たっている。● 学歴は日本の農業短大卒(カモラ)のパンアメリカン農学校卒、年令40才前後
 ⑥ 木造簡易温室2棟(250m²×2)、7H.P.の揚水ポンプと灌漑設備(川からポンプアップ)
 他に壊壊器、クワ等 ⑦ 無し ⑧ スパイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンジュラスは花卉需要(高級花屋を対象)の大部分をグアテマラ、コスタリカより輸入しており、国内にて需要を満たす生産地の育成が必要である。現在高級花屋に出荷している栽培家は国内に6軒と少なく、バラ2軒、カーネーション1軒、グラジオラス2軒を数えるのみである。● 他栽培家はホンジュラス在来の品種(カランコエ、マリーゴールド、アカパンサス、アスター、カーネーション)を大衆市場に出荷しており、高級花屋を対象とした品種は少ない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 必要である。
 ① 不由 ② 普通自動車免許 ③ 3年以上か望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

10301 花 き

調査者氏名 在パラグアイ国
海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) FLORICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 花 弁	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 〇年〇月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Agricultura y Ganadería (MAG)
 イ. 配属先名称 (現地公用語): Servicio de Extención Agrícola y Ganadera (SEAG)
 (日本語): **農牧省 農牧普及公団**

ロ. 隊員勤務先名称: Agencia de San Lorenzo 日本語名称 (サンロレンソ 普及事務所)
 所在地: San Lorenzo, Central 主要都市からの距離 (首都より 12 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及公団本部はサンロレンソあり 全国約 58ヶ所の普及事務所を統轄し約 140名の普及員を各事務所へ配して農業・牧畜の普及 4-C (時の 4-H 相当) クラブの指導 生活改善組合指導等広範囲の業務を所掌する。サンロレンソ普及事務所は本部に最も近い所に所在し同僚に生活改良普及員 1名が居る

ニ. 設備概要: 普及指導を主要業務とする性格上 〇に所在し同僚に生活改良普及員 1名が居る
 機械等は皆無、唯一 隊員携行のみ。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位 - 普及指導員
- ② 技術の範囲 - カネシオン、キフ、ブラジオラス バラの栽培に 2-3年の経験と有ることが望ましい
 又 普及指導範囲の農家は、レタスを中心とした野菜栽培も行っている為
 出来得れば、野菜栽培に関する基礎知識もあれば良い。
- ③ 業務の形態 - 主要花卉栽培地である サンロレンソ近郊の ラウレルティ、ルーク、フェルナドデラモラ
 地区の花栽培農家に対し 週 1-2回の割合で巡回指導する 他、これら農家の
 土地を借用し 外国 (アルゼンチン等) 導入品種 (カネシオン、ブラジオラス etc) の試験栽培
 を行なう。
 現地人農家の花栽培は、一年草を中心とした 初歩的な露地栽培である。
- ④ 対象者及技術水準 - 一般農家を対象 水準は 初歩的段階である。
- ⑤ 利用できる機械 - なし (ごく基本的なものを除き 携行すべき必要もなし)
- ⑥ 予る国人等の配置 - なし (他の普及事務所には、アメリカン・ホースマンが派遣されている所も有)
- ⑦ 使用する言語 - ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
 当国に於いては、最近、花の需要が増大しているにもかかわらず、未だ自国産をもって十分供給し得るだけの規模技術が不足しており、コロンビア、アルゼンチン等からの輸入に頼っているのが実情である。このような背景下において、主に切り花であるカネシオン、ブラジオラス等々の自国産供給割合を増加させ、ひいては、農牧省の政策として掲げられている、小農家の生活向上、技術水準引上げに結びつけたいというのが、当国側の希望である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について〇印で囲むこと):
 学歴は不問、経験 2-3年を有するのが望ましく、且つ野菜に関する基礎知識を有すればなお良い。

記入昭和 55年 / 月 10日

10302 野 菜

調査者氏名 三浦 憲一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) / 人	訓練開始 昭和 55 年 10 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 一人 (どちらでも可) 一人	派遣予定 " 56 年 2 月 受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agrarian Reform (MAR)

(日本語): 農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: MAR Pilot Special Settlement Project (日本語名称 (持別入植事業))

所在地: Narra Palawan (主要都市からの距離 27km より約 100km)

ハ. 事業規模及び内容: すでに開拓された土地約 25000 ha, 入植者戸数約 3000 家族の定着促進及び農業生産の向上, また新規入植者の受け入れ等を主な事業目的としている。当 MAR PSSP 職員約 30 名。

ニ. 設備概要: 農地のイリゲーション等は不備であるが当事務所には、ブルドーザー、グラブダンプトラック、大型トラクター等が設備されている。

(2) 隊員の業務内容: 上記約 25000 ha, 3000 家族が現地で主として稲栽培を中心として農業を営んでいるが比較的簡単に換金できる野菜栽培に多くの農民が興味をもっている。しかし、彼らの野菜栽培に対する知識・技術は決して佳いものではないが、地理的・土壌的悪条件及び灌排水設備の不足又は最も根本的な原因として農民の資金不足から野菜栽培面積は全体からみるとかなり低く、また現在栽培している農民も高品質の野菜は収穫できないでいる。そこで隊員はこれらの入植者達に野菜栽培の普及もあつたことなから知識・技術面での指導強化を計り高品質の野菜が収穫できるように努めることがこのからの主な活動方針とならう。現地では Volunteer としてではなく technician としてみなされているので隊員にもそれ相応の知識・技術が要求されるであらう。特別のカウンターパートはないが MAR 及び他の農業省の出張所があり、それぞれ technician が常駐している所以他们と連携して活動を行うこともできる。また大型機械(トラクター、ブルドーザー、パワーショベル、グラブダンプ)等は MAR Office で設備しており、これは申請において随時使用できる (Operator 付)。現在現地には稲作 2 名、家畜飼育 1 名、野菜栽培 1 名、計 4 名の JOCV 隊員同 Office 付で配属されているが現地に於ける JOCV の評価は非常に高く、将来もこの 4 人の型で通行するものと思われる。日米・その他専門家はいない。使用する言語は英語でほとんど通じないが現地語であるタログ語の習得も活動上欠かせないものとなるであらう。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜栽培隊員は現在又代目であるがこの入植地での野菜栽培の普及はある程度効果があつたと思われるので今後は生産性の向上及び高品質の野菜生産を目ざし、また現在ほとんど地元だけで消費されている野菜を将来は大都市への移出も可能になるような野菜づくりを中心指導していく必要がある。消費が増えることにより農民の生産意欲も高まり、これはそれが普及の最大の源となることと思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記に述べたようにこの当分は現地 JOCV 隊員数名での活動が中心なので単に JOCV 間のチームワークが大切であるのでチームの一員として連携できる隊員を望む。単程は農業短大卒以上で経歴 2~3 年が望ましい。このからは技術面の指導が重要視されるので新卒よりも経歴者を望む。資格としては特にないが土壌学にも詳しい隊員が最も望ましい。(三浦憲一隊員 53/2 前期経の交換要請)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新保昭治

10302 野 菜

記入昭和 55 年 1 月 10 日

調査者氏名 福島勲治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): office of the Governor, Davao Dp.
(日本語): ~~ダバオ~~ ガバナ・ネロツ町
- ロ. 隊員勤務先名称: Municipality of Gov. Generoso (本語名称 (ガバナ・ネロツ町))
所在地: Sigaboy, Gov. Generoso, Davao Oriental (主要都市からの距離 (Natiより 80キロ))
- ハ. 事業規模及び内容:
野菜モデル地区 2ヶ所 (1ha, 0.5ha 作物: タイコン、キャベツ、トマト、ナス、キュウリ、コーナツなど一般の野菜作物) 及び稲作
- ニ. 設備概要: 技術普及指導

(2) 隊員の業務内容:

去年から始めた Provincial Priority Project の I. A. D. (Integrated Agricultural Development; 農業総合開発) 計画に基づき、この Municipality において、野菜生産地を築き、僻地における自給自足体制はもちろんのこと、大々数の貧しい農民の経営改善増進に貢献せんと私の業務がはじめられた。今のところ 2ヶ所の地域で野菜のモデル生産地を現地の技術者たちとともに取り組んでいるが、まだまだ自給自足体制までは不十分である。又この Municipality の半分の地域は、ボートと交通機関とする不利な所であり、今後こうした地域における野菜を含めた作物一般の自給自足はもちろんのこと、農民の経営増進に迅速に活動することが望まれる。

また Province の方で今年から新たに I. A. D. 計画に基づいて、他の Municipality における野菜モデル地区の技術指導も依頼されており、今後広範な活動が展開される。

一般には現地語 (セブア) 語を用いるが、公的には英語を用いる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

有用性 福島勲治隊員の交替要請。
当 Province には 現地の野菜栽培技術指導、普及者が見あたらす。I. A. D. 計画推進 及び技術者養成の意味も含めて、今後とも隊員の活動が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大卒程度 (なるべく)
2. 稲作知識をもちている人又は興味のある人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 54 年 5 月 28 日

調査者氏名 草野忠行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	Taman Sayur	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
野菜栽培			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Lembaga Kemajuan Tanah Persekutuan (Felda)
 (日本語): 土地開発公団

ロ. 隊員勤務先名称: Felda 入植地 日本語名称 ()
 所在地: 未定 (隊員派遣が決まれば決まる) 主要都市からの距離 () 以上 () キロ

ハ. 事業規模及び内容: Felda 1つの入植地面積約 4000~5000エーカー、入植者数約 400家族からなる入植地を全土に約 262ヶ所所有しており、オレカン、ゴム、ココ栽培、生産を行っている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 各入植者の家と巡回訪問し、庭先や近くの空地に自家消費用野菜を栽培できるように指導する事が要請されている。
- ・ Feldaは野菜栽培隊員専属のカーブ-ロード(野菜栽培普及区)を配属した者になるのでカーブ-ロードに所属する野菜栽培技術の指導員と共に、いっしょに普及活動を行う。
- ・ 入植者の主な仕事はオレカンやゴムの園の管理であり、自家菜園の管理は主な仕事の終わる余暇の時間とあるので巡回指導は午後4時~3時開始する。12時~2時の間は、展示園の管理にまかされる。
- ・ ナス、ホウリ、トマト、スイカ、キャベン、ウリ、葉巻、トウモロコシ、トビロコシ、インゲン、落花生などが植えられている。
- ・ 使用言語 ⇒ ~~マレー語~~ マレー語 ・ 機材 ⇒ 作業衣 24点の携行が良い。(カーブ-ロードが書いている通り)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

入植者が自家菜園をもち野菜を自給することで余金の現金支出を防ぎたいという考えから、これからの急務が派遣される。(現役6名が活動中)
 これ先任隊員の業績が高く評価され今回の要請とされた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 農業大学卒業 (高卒でも農業高校卒が野菜栽培)
- 2年以上の野菜栽培経験 (実務経験と有資格)
- 車庫(90cc)運転できる事。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 10 日

10302 野 菜

調査者氏名 真野 志行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Agricultural Technician	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸(農芸一般)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Culture, Youth and sports.
(日本語): 文化青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: National Youth Training Center 日本語名称 (青少年訓練センター)
所在地: Dusun Tua, Selangor 主要都市からの距離 (K1より 20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1966年創設, 職員数350人, 生徒数1000~2000人 62工場の敷地を有し, 初中等教育を終了した者を対象に職業訓練を施す.
コ-2の稼業: 農業, 自動車整備, 建築大工, 電気, 洋裁, 商業

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

・ 現地教師と観望拒物など園芸の経験は居るので隊員の農業一般果樹, 野菜等~~の~~栽培方法, 土壌肥料, 病虫害防除, 12ヶ月2教える事になる。

・ 現在農業機械コ-2に山田隊員が活動中。

・ 使用言語 → マレー語

・ 携行すべき機材不要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

過去に農業関係隊員が配属されたが, 当時のスタッフが稼働, 転職等であり, 経験ある指導員が不足し, 技術の停滞が目立つ。
新しい技術の導入と継続者養成に隊員の貢献が期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上, 農業経験で農業一般12ヶ月, 理論と実習指導ができれば可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年 9月 5日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	野菜	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): University of Chittagong, Ministry of Education
(日本語): 文部省和邦大学

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Botany 日本語名称 (植物学科)
所在地: Chittagong District 主要都市からの距離 (約) 20キロ

ハ. 事業規模及び内容: 植物学科は通常の教育・研究の他に約30エーカーの植物園の管理業務及び1,300エーカーの大学構内の並木庭園の管理を行なっている。植物園下は紙幣の学内の学内実験・研究、普及を前提とした果樹栽培プロジェクトおよび運営資金調達のための野菜栽培を行なっている。

ニ. 設備概要: 植物園には50CVの購入した耕耘機 (トラクター) トラクター (700CV 5馬力) 以外には金切り機、実験室には基本的な実験器具 (顕微鏡、pHメーター、恒温箱等) が揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 植物園の管理及び学生の学習指導が主たる業務となる。諸条件が揃った場合は、教室に於ける講義も担当する。

イ 隊員の業務上の地位: 園芸の専門家として教師と同格の扱い。

ロ 技術の範囲: 野菜栽培全般にわたる技術。その他に果樹 (主にバナナ)、交配等の育種技術、農業全般にわたる知識がある。非常に役立つ。

ハ 業務の形態: 植物園の管理及び学生の学習指導

ニ 対象者及びカテゴリー: 学生は日本の大学生と同じ年齢であり、植物学の知識はほとんどが農学の知識特に実地面の知識は皆無である。カテゴリー下にある植物園主事は植物学専攻であり独学による農学の知識は豊富。しかし実地面の弱い。植物園副主事は農業短大出身で実地面が比較的強いが理論面は弱い。

ホ 現地下利用すべき材料: 上記(1)ニ及び(2)の簡易土壌検査器

ヘ 取場の於ける主要な人等: なし

ト 使用すべき言語: ベンガル語及び英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 要請者の植物学科長は協力隊員について熟知しており、その勤労と技術が高く評価している。当然技術と長所を備えた隊員の受入を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本以上の学歴 (偏重社会) の中の大学卒 (4年制大学卒以上) の学歴と1年以上の実務経験が必要。業務上の主要な対象者が大学生なので年齢25歳以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年3月10日

10302 野菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バンガレーズ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1人	訓練開始 55年10月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)
(日本語): Ministry of Agriculture 農業者農業普及管理局
- ロ. 隊員勤務先名称: Gaibanda Agriculture Extension 日本語名称 (ガイバンダ農業普及員養成所)
所在地: Training Institute ラングプル県ガイバンダ 主要都市からの距離 (ダッカより300キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。全国に80所あり30所建設中。80年よりスタートする第2次56年計画にて世銀の援助を得て計200所と予定。
校長, 現地教官6名 生徒数130名
- ニ. 設備概要: 事務所, 職員住宅, 生徒用宿舎, 農場用ポンプ, 耕耘機, トラクター, 農場50エーカー。

- (2) 隊員の業務内容: 2年制の農業普及員養成所で農学I, II, 作物保護, 農業機械, 農業普及, 園芸の6教科があり 隊員は園芸を担当し, 主に実技指導にあたる。
- 1) 隊員の業務上の地位: 校長直属の教官
 - 2) 技術の範囲: 野菜全般特にキャベツ, カリフラワー, トマト, タマネギ, ハクサイ, レタス, スイカ等の園場の作付計画をはじめとする栽培管理。
 - 3) 業務の形態: 園場の栽培管理指導及び学生の實習指導 ために教室での講義。
 - 4) 対象者 ためにカウンターパート: 学生は20歳前後で10年教育の高校教育まで受けている。カウンターパートは卒業4~5年。
 - 5) 現地で利用できる機材: 上記設備概要の他 簡易土壌検査器等。
 - 6) 取場における外国人等: 現在協力隊員のみであるが, 日本農作業の11代時代から 特に日本人の在任は多い。
 - 7) 使用する言語: 生徒とは全てベンガル語, 校長, 教官とは英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
昭和48年以来3代の隊員が続いている。中央農業者では園場に入りたがらばい教官の意識改革を期待し, 現場では農場におけるデモンストレーションと實習指導および他国の情報提供等を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
農学部系短大卒以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 12 月 22 日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸 一 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Breeding	(男) 2 人	訓練開始 55 年 4, 6 月
	(日本語) 園芸作物	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55 年 8~10 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre

(日本語): 柑橘・野菜種子研究センター

ロ. 隊員勤務先名称: Rangpur, Ishurdi Sub-Centre 日本語名称 (ロハール, イシュルディ)

所在地: Rangpur, Mahigonji, Ishurdi 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Rangpur は現在 BARI (Bangladesh Agricultural Research Institute) の棉花試験地として使用しているが近々野菜種子研究センター専用となる。圃場 35 エーカー。Ishurdi も野菜種子センターとしては未整備。

ニ. 設備概要: 耕耘機, ポンプ, 事務所, 宿泊施設なし。

(2) 隊員の業務内容:

(1) 隊員の業務上の地位: 主任研究官と研究官の中間程度

(2) 技術の範囲: 野菜の試作, 外国導入種・現地在来種より新品種の選抜, 育成, 採種が主な業務となる。キャベツ, ブロッコリ, カブラワー, カイラン, マスタード, 大根, カンコン, 豆類, スイートコーン等。

(3) 業務の形態: 主センターの指示に基づき上記業務を研究官と共に行う。普及業務はない。

(4) カウンターパートの技術水準: 主任研究官は大卒(修士)後経験 5~8 年, 研究官は 3~5 年。

(5) 現地と利用できる機材: 現在未整備なものも日本の機材がくる不定。

(6) 取場における専門家: サブセンターにはいないが, 主センターに JICA 専門家 4 名 (調整員 4 名 (リーダー 1, 果樹 1, 野菜 1, 調整員 1)) がいる。野菜, 果樹 専門家は協力隊 O.B. 技術的アドバイス, 協議は出来る。

(7) 使用言語: ベンガル語 オフィスは英語可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜普及のネットワークは種子生産にあり, CVSRC は種子・柑橘研究所として JICA 協力を基に設置された。在来種の種子改良, 選抜は以前の主センターのみならず, 各サブセンターの気候条件等にあつた種子研究をする必要があり, 各サブセンターの技術面を隊員に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒。試験研究の知識あることが望ましいが, 当初はサブセンター開設業務が主となるため, 明朗, 意志強健であれば可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 10 日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸 一 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management).

(日本語): Ministry of Agriculture. 農業者農業普及管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Nator Agriculture Extension Training Institute. 日本語名称 (ナートル農業普及養成所)

所在地: ラジシャヒ県ナートル郡 主要都市からの距離 (カカより200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。全国に80所あり、3ヶ所建設中。80年EJスタートするO2次5ヵ年計画に2世銀の援助を得て計20ヶ所とする予定。校長、教官、取員等約20名、生徒数約150名。

ニ. 設備概要: 事務所、取員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、農場用エーカー、トラクター。

(2) 隊員の業務内容: 2年制の農業普及員養成所で、農学I, II, 作物保護、農業機械、農業普及、園芸の6教科があり、隊員は園芸を担当し、主に実技指導にあたる。圃場の一部の運営、管理をまかされており、生徒実習用として、個人々に栽培させる一方、直接訪れる農民への指導にもあたる。

1) 隊員の業務上の地位: 教官

2) 技術の範囲: 野菜栽培が可能。キャベツ、カリフラワー、スィルコール、多持ちカンラン、白菜等を栽培している。

3) 業務の形態: 直接的にはJOCTにまかされている圃場の管理。又学生のカリキュラムに基づく実習時間を担当する。授業も週1回程受持つ。

4) 対象者およびカウンセラー: 生徒は18~20歳で、初めて農業を学ぶ。カウンセラーは教官で大卒2~3年、平均年齢26歳程度。

5) 現地で利用できる機械: 上記設備。特にトラクター等は世銀援助による。

6) 取場における外国人程: 稲作、農業機械、JOCT隊員のみ。

7) 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語。校長、教官等とは英語も必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 高田孝隊員交代。バングラの発展は農業、農業発展には良き普及員育成の目的で充足し、施設は世銀援助、教官の再教育はJICAのCERDIプロジェクト、現場指導は協力隊という形態となっており、4ヶ所の養成所に勤務中。その評価は高い。昭和48年以來の5代目隊員となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系卒。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 10日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸 一 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)
(日本語): Ministry of Agriculture, 農業者農業普及管理局
- ロ. 隊員勤務先名称: Sherpur Agriculture Extension Training 日本語名称 (シールプル農業普及員養成所)
所在地: Institute, マイクシ県, シールプル部 主要都市からの距離 (ダカより170キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。全国に80所あり、3ヶ所建設中。20年よりスタートするが2次5ヵ年計画にて世銀の援助を得て20ヶ所と予定。全耕地面積24エーカー。
- ニ. 設備概要: 教室、生徒寮、職員住宅等の他圃場用に耕耘機、深井戸ポンプ、かんがい用ポンプ、自動噴霧器

- (2) 隊員の業務内容: 2年制の農業普及員養成所で、農学I, II, 作物保護, 農業機械, 農業普及, 園芸の6教科があり、隊員は園芸を担当し、主に実技指導にあたる。
- 1) 隊員の業務上の地位: 校長直轄の教官
 - 2) 技術の範囲: 野菜全般特にキャベツ, カラフラワー, スイカ等の圃場の作付計画をはじめとする栽培管理
 - 3) 業務の形態: 圃場の栽培管理指導及び学生の実習指導ならぬに教室での講義
 - 4) 対象者ならぬにカウンターパート: 学生は20才前後で10年教育の高校教育まで受けている。カウンターパートは大学4~5年。
 - 5) 現地で利用できる機械: 上記設備概要の他トラクター等世銀からくる予定。
 - 6) 取場における外国人等: 農業機械, 稲作のJOCT隊員。
 - 7) 使用する言語: 生徒とは全てベンガル語。校長, 教官とは英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 昭和49年以来隊員が続いている。中央農業者では圃場に入らぬに教官の意識改革を期待し、現場では農場におけるメンストレーションと実習指導および他国の情報提供等を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
農学部系短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 10日

10302 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Crop Production & Horticulture.	(男) 1人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation. (BADC).

(日本語): Ministry of Agriculture and Forests. 農林省 農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Jessore Agricultural Development Estate, (ADE) 日本語名称 (ジェソール農業開発農場)

所在地: ジェソール県ジェソール郡 主要都市からの距離 (ジェソールより3キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業開発公社は全国に4ヶ所の農場を持ち、そのひとつ。(種苗は別) 野菜種苗生産、場内展示圃場を通じての農民への普及活動および農業技術向上を目的とし、普及組合、農業機械を担当する副場長3人、普及員9人がいる。

ニ. 設備概要: 圃場面積20エーカー、深井戸ポンプ1基、トラクター7台、鶏舎(200羽) 事務所

(2) 隊員の業務内容: 普及部門を担当し、圃場での試験栽培、展示栽培を行なう他、単位農協への指導、普及にあたる。初代は土壌調査をし、2代目は病害害調査をした。

1. 業務上の地位: 農場での技術および単位農協への普及を担当する副所長格。4農場の年次場長総会には出席し、技術面での報告、建言にあたる。

2. 技術の範囲: 野菜を中心とした作物一般の栽培、普及技術、大根、トマト、キャベツ、ナス、ジャガイモ、レタス、スイカ、いんげん等。

3. 業務の形態: 農場での試験、展示栽培の運営管理および普及活動。

4. 対象者およびカウンターパート: カウンターパートは普及員、大卒30前後。場長は日本で研修を受けている。

5. 現地で利用できる機械: トラクター、耕耘機、かんがい用ポンプ、単車等。

6. 取組みの外国人等の状況: いない。

7. 使用する言語: 農民にはベンガル語。農場、特に事務所内では英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 4ヶ所の農業開発農場にそれぞれ隊員がおり、年総会で報告をし、翌年の活動計画を練るといった形で理想的な協力体制となっており、各圃場とも10エーカーづつ面積を増やし、JOCVと公社共同で水路整備をしている。完全な組織の一員として活動しており、当面JOCV扱いは考えられない程になっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年3月10日

10302 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 10302 野菜	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 配属先名称 (現地公用語): University of Chittagong, Ministry of Education
(日本語): 文部省, チッタゴン大学
- 隊員勤務先名称: Chittagong University Rural Develop. Program 日本語名称 (チッタゴン) 大学農村開発計画
所在地: チッタゴン県ハザリ郡アザパド村 主要都市からの距離 (約) 20 キロ
- 事業規模及び内容: CURDPはチッタゴン大学周辺農村の開発と調査を目的に、1974年より5年計画として実施した計画。学長と委員長とする13人からなる実行委員会があり、3農場を運営しており、隊員はその農場を勤務先とする。
- 設備概要: 大学敷地1,400エーカー内に展示圃場、普及貸与圃場を有す。圃場取り12区、浅井戸ポンプ、ジープ。

(2) 隊員の業務内容: チッタゴン丘陵地は未開発地が多く、政府も食糧増産の観点から開発を重視しており、同大の農学科設置が進められている。そこではCURDPは重要な任務を担っており、隊員は農場運営の野菜、稲、果樹の作付計画、家畜飼育、果樹の健全な栽培が求められる。

- 業務上の地位: Directorの下で農場運営にあたる。
- 技術の範囲: とりあえず野菜と分類にあるも、稲、果樹、畜産等農業全般に関与する。しかしながら1人では不可能であり、隊員の持つ技術範囲で協力し運営主体となる。
- 対象者およびカテゴリー: 対象者は農場内では労働者、普及では農民とあり、現時点ではカテゴリーは1つ。
- 利用できる機材: 上記設備の他農具。
- 第3国人専門家: チッタゴン大内には英語教師の兼职ボランティアが1人いる。他にJOCV隊員1名。
- 使用する言語: ベンガル語、英語もかなり使用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大島健男JOCV隊員交代: 資金、人材難、局長の交代等から、やむを得ず圃場を圃場らしく整備すること、道づくりして後任に託すこととなる。理想と現実の差は大きく、具長り協力が必要である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
農学部4年制卒。唯一の学内の場での協力であり、学生実習もある。2学部卒。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月1日

10302 野 菜

調査者氏名 田嶋 貞 箱 葉 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 55年9月
	Agriculture	(女) 人	派遣予定 56年2月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年月日に現地到着のこと
	農業		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: 地方の高校 おいて着都の
所在地: 工業高校
日本語名称 ()
主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容:
もっと詳細連絡

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 教員
2. 高校上級生に対し農業全般に関し教授する。
3. 小学4年, 中学2年, 高校4年の併し高校上級11~12年生を対象とする。
4. 高校上級は選択科目としての子の心幅広く教える知識が要求される。
5. 多数のインド人教員が経験者で参加している。
6. 指導は全て英語でおこなわれ子ので相手の英語力が要求される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国際開発のための人材養成のための教員

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒, 教員免許, 教職経験者
英語力の高いもの

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年10月18日

10302 野 菜

(C. J. A. V.)

調査者氏名 S. EGUCHI Shuji

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) HORTICULTURIST (VEGETABLE) (日本語) 野菜栽培	(男) 4 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture
(日本語): 農業省
- ロ. 隊員勤務先名称: District Agri. Office or Divisional Agri. Office 日本語名称: 県農業事務所・郡農業事務所
所在地: マヤコス・タワ・カリッサ 主要都市からの距離 (より300キロ)以内
- ハ. 事業規模及び内容: ディストリクトレベルでの野菜作振興, 国家レベルでの輸出園芸作物の振興
がプロジェクト方式で計画されている。野菜作については地域に利拡大的ポテンシャルが
見られるので一概に事業規模は算定しがない。
- ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 野菜作の技術指導 (農家経営も含む), ある場面では栽培
からマーケティングのめんどろを見る必要がある。共同組合 (出荷組合), 産地形成,
農民の利益確保を目的とし, 地域開発に与る。オースでは一般に77-7の地
FA, JAAの教育に与る。FA Technical Assistant, JAA Junior Agricultural Assistant

- ① 業務上の地位: technical extension officer
- ② 技術上の範囲: 各種野菜の栽培方法と経営
- ③ 業務の形態: extension work, incharge of demonstration
- ④ 対象者・カテゴリー: 農民
FA (Technical Assistant) JAA (Junior Agri. Assistant)
(オースに1名)
- ⑤ 利用出来る機材: 農民に供するものは全くないが, ディストリクトの予算で
必要機材は若干購入できる。
- ⑥ オース国人, 日本専門家: オースコ (同業種の場合あり) との分担の場もある。
ドイツ専門家 (マーケティングオース)
- ⑦ 言語: 英語・スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本オースの野菜栽培技術についてはその活動から
各ディストリクトで高い評価を得ており, すでに良働く指導者と農民間に定評がある。
新しいオースで現地オースと仲良く地域農民の利益に連なる方が実質的に
一切をなし, 而してケニアの発展に連なることを期待している。(海外向野菜, 国内向野菜)。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
短大・大学卒・県技術研修所卒でも可だが, 二年三年の経験のあるもの。
単車免許 (足がければ仕事に足らぬ)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

54.9.-8

記入昭和 年 月 日

10302 野 菜

調査者氏名 笹子 実

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 55年4月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 55年8月
	野菜	(どちらでも可) / 人	受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): MALAWI COUNCIL FOR THE HANDICAPPED
(日本語): マラウイ身障害者評議会
- ロ. 隊員勤務先名称: MAGOMERO FARM UNIT 日本語名称 (マゾロ農場)
所在地: MAGOMERO, NAMAJI 主要都市からの距離 (BTより40キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 約4haの農場の運営、管理 野菜の販売

ニ. 設備概要: 必要器具等一式、詳細は吉田浩階氏報告書参照のこと。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 専門家(森田信晴 JICA EXPERT)と共同して農場の運営管理、生産物の販売に従事
- ② 専門家の指示により、農場建設にあたる。
- ③ カウンターパートを指揮して作業員(13名から20名)の教育にあたる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

身障害者センター(未開設)の一部門として将来を位置づけられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1. 農学部卒業生
- 2. 経験 2~3年

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 54年 11月 10日

調査者氏名 小林 収

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) AGROPECUARIA GENERAL (日本語) 野菜栽培	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA 文部省			
1. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL EDUC. MEDIA (DEPTO. EDUC. TECNICA) (日本語): 中等教育局 技術教育課			
ロ. 隊員勤務先名称: ESCUELA AGRICOLA "JOHN F. KENNEDY" 日本語名称 (サンフランシスコ農業高校) 所在地: SAN FRANCISCO, LA CEIBA 主要都市からの距離 (首都より450キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: サンフランシスコ農業高校は16才~20才の男子を対象とした4年制、全寮の農業学校で農業全般に渡る教育を目的としている。団地面積は約2/1ha (3002坪) あり、野菜や果樹に用いる健全な肥料が豊富に採集されている。			
ニ. 設備概要: 園芸用団地 9ha の内野菜用栽培地7ha、果樹2ha、牧草地12haの団地面積あり。水、肥料、農機、農具、資材、燃料、電力、衛生設備等が整っている。			
(2) 隊員の業務内容: 業務内容は、午前中園地作業、午後講義と園地指導が中心である。午後講義も行われ、特定の野菜に関する栽培が行われ、各作物の栽培技術の指導も行われる。又講義では栽培理論も教えられる。 ・ 隊員業務上の地位: 教師、或は教師に同等の地位。 ・ 技術上の範囲: 気候的条件の他に、栽培できる作物の栽培地行ない幅広い知識の習得と指導するための幅広い技術が要求される。 ・ 業務形態: 午前中園地作業、午後講義。 ・ 対象者及びカリキュラム上の技術水準: 当座年齢: 16才~20才生徒が対象となり、中学卒業の学歴を有する。 ・ 現地で利用可能な機械: トラクタ、耕耘機、ハロー、シタ、鋤、噴霧機等一部の作業機械が揃っている。小型耕耘機も利用可能なため、果樹原栽培も可能。 ・ 職場環境: 良好な個人及び日本農家の配置状況。 1979年11月現在、土壌、化学肥料、及び平和部隊の隊員がいないため、野菜栽培は下記に示す通り。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: この学校の卒業生は、農業以外の好む技術の習得を希望し、この国の農業に貢献するため、その技術の向上を望むため、今後人材育成に期待するものである。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大卒の農学部農学科卒業生で、農学全般の資格を有する必要がある。2~3年の経験も歓迎するが、年齢は不問。			

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 3 月 22 日

調査者氏名 森 平 之



受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Vegetable grower	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 56 年 4 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Agriculture Extension Division, Dep of Agriculture & Forestry*
(日本語): 農林省

ロ. 隊員勤務先名称: *Nafanua Agriculture Station* 日本語名称 (ナファンア農業試験場)
所在地: *NAFANUA* 主要都市からの距離 (APIAより 10 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

農場敷地の 20 エーカー。場内に勤務先の *Small Crops* の建物, *Engineering Center*, *Carpenter's Work Shop*, *Plant Protection Laboratory* 等の施設有り。

ニ. 設備概要: 硬質ファイバーグラス被覆の青苗舎一棟, 電熱土壌消毒機 1 台, 手動式薬剤散布機 2 台
圃場の耕起等は場内の *Engineering Center* が受持っている。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 他の field office の同等かむしろ上。(隊員の業務上の地位)
- ② 農場で行った試験を報告して品種もしくは栽培法の改善を農林省に提示。同時に一般農家・学校への要請による野菜栽培の実施指導。
- ③ 業務の柱として、農場での試験栽培とモデル Farm の展示があり、技師という反面、農家を訪問しての栽培法の指導という改良普及員でもある。
- ④ カウンセラーという人物は現在無し。他の一語に働く office の技術水準、知識は低い。全員専門教育を受けておらず、学歴も低い。
- ⑤ 場内にある *Engineering Center* でトラクター、手動式、動力式薬剤散布機と貸し出しに使用できる。
(他国の専門家、ボランティアは)
- ⑥ 現在、J.O.C.V を除いて無し。
- ⑦ 英語, サモア語。職場内ではほとんどの人間がサモア語しか話せない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

新しい農業開発計画 ^(手立て) ~~が~~ 農林漁業振興に力を入れている。特に野菜栽培に対する農家の意欲昂進 ^(手立て) している。野菜栽培の専門家としての栽培に対する期待はかなりの大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大卒又は短大卒で普及員の資格と有する若い人 (26 才程度)
- 経験 2 年以上が望ましいが日本の栽培技術と当地の条件に大きな差が有るの日本での経験が当地で生かせる。基礎知識の多い人が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年5月6日

10303 果 樹

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Fruits Growing	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 果 樹	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Horticulture Development Board (HDB), Ministry of
(日本語): Agriculture and Forest 農林省 園芸局

ロ. 隊員勤務先名称: Biani Bazar Nursery Station 日本語名称 (ビニバザール植育場)
所在地: シル-果ビニバザール郡 主要都市からの距離 (シル)より50キロ

ハ. 事業規模及び内容: HDBは1973年の農業普及局と農業開発公社の園芸部門が独立合併して設立された。果樹部門は昨年8月から植育場設立用地の調査を始め、今年4月にビニバザールが決定され、植育場として整備される段階にある。

ニ. 設備概要: 約2エーカーの土地にオレンジ20本、ジャックフルーツ5本の木がある。地味事務所に車(ピックアップ)1台のみ。室内設備は上記の数量より今後整えられ予定。

(2) 隊員の業務内容: 平均2.5エーカー(最大4エーカー)の果樹園を持つ農民を対象としてオレング(温州4かん)を中心にレモン、ジャックフルーツ、ジャバ等熱帯果樹の普及が主な業務になる。他に Nursery Station の庭前の通り苗木の生産、農民の訓練も行う。
1) 業務上の地位: 勤務先の長である Horticulture Development Officer の下でジュニアエクスパート

2) 技術の範囲: オレンジを中心に地味レモン、ジャックフルーツ、ジャバ等の熱帯果樹に関する知識と技術

3) 業務の形態: 農民への巡回指導が中心

4) 対象者及びカテゴリー: 直接の対象者は全くと教育を受けた7-15歳の農民で果樹栽培の技術はない。カテゴリーは Field Overseer から得た技術水準等は異なる。

5) 現地下利用可能な材料: 現地下はビニバザール植育場には何も無い

6) 専門家の数: 勤務先にはいない

7) 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: HDBの Executive Director は JICA から厳格な条件下でベネガル語を駆使し農民の申し入りから各地に派遣決定を繰り返している事から肝銘し更に HDB に果樹技術者の絶対数が不足している状況を要請され、上述のとおり農民の普及活動が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本との教育制度の違いから社会面会により短大卒業以上の学歴(○印)の定務経験(○印)の定務経験は長ければ長ければ良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年12月22日

10303 果 樹

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Horticulture	(男) 2 人	訓練開始 55年4月
	(日本語) 果 樹	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年8~10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre
(日本語): 柑橘・野菜種子センター

ロ. 隊員勤務先名称: Chittagong Sub-Centre Joint JICA 日本語名称 (47751, ジャングル)
所在地: Hatazaki Chittagong, Jaintapur Sylhet 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 柑橘類を主とした 15ヘクタールの柑橘研究所 (47751)
" 70ヘクタール " (ジャングル)

ニ. 設備概要: 事務所, 職員宿舍, 牛車, 水道設備, 給電設備, 電話あり (47751)
ジャングルは現在電気がない。設置予定

(2) 隊員の業務内容:

(1) 隊員の業務上の地位: 主任研究官と研究員の間。隊員の技術・能力によつては主任研究官と同等にはれる。

(2) 技術の範囲: 果樹類の肥培管理, 接木, 芽接技術の指導が中心となるが、当初は栽培と平行して建設作業等も行う。南設業務もある。
レモン, スイートオレンジ, マンダリンオレンジ, ラム類の他マンゴ, ヤシ, ジャックフルーツ等

(3) 業務の形態: センターの指示に基づき上記業務を研究員と共に行う。

(4) カウンタースパートの技術水準: 主任研究官は大卒(修士)後経験5~8年, 研究員は3~5年。

(5) 現地で利用できる機材: 現在未整備なるも日本の機材がくる予定。

(6) 取場における専門家: サブセンターには11名、主センターにJICA専門家及び調整員4名(リーダー1名, 果樹1名, 野菜1名, 調整員1名)がいる。
野菜, 果樹専門家も協力隊OB。技術的アドバイスは出来る。

(7) 使用言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: CVSRCは種子・柑橘研究所として, Bangladesh Agricultural Research Institute (BARI)の一部門を拡充しJICA協力に基づき設置された。隊員はサブセンターの地域特性を考慮した試験場としての基礎整備はらば試験研究の進行に寄与する事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業短大卒 30才以下で資格, 経験等は問わず。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

103園芸作物 (果樹)

記入昭和 54年 3月 21日

10303 果 樹

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Citrus Cultivation	(男) 6人	訓練開始 54年 8月16日
	(日本語) 柑橘類栽培	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年 2 or 4月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture

(日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Eastern Development Regional Directorate (日本語名称 (東部開発農業支局))

所在地: ダンクダ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: National Citrus Development Programme (ネパール柑橘類開発計画) はダンクダを中心とする 6地区 (district) で実施される計画であるが、JOCV 隊員の着任後、実際に開始される。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 開発計画の中で柑橘類栽培専門技術者となる。

2. 技術の範囲: 開発計画指定地区で地元農民 (果樹園経営者) を対象に栽培の基礎技術から、経営まで

3. 業務の形態: 全般にわたって指導する。また現場での記録を報告し、将来のデータ作りもする。具体的には、地元農民に、苗床、播種、育苗、施肥、灌水、救済、病虫害防除、摘果、剪定、追肥、つぎ木等一連について、また果樹園経営者にも、地取、整地、栽植、支柱、耕鋤、除草、施肥、灌水、救済、病虫害防除、整枝、剪定、等について指導する。

4. 対象者のカテゴリー: 各地区の Junior Technician or Junior Technical Assistant がつき、対象は J.T, J.T.A 及び地元農民となる。 (技術者として)

5. 機材: 特になし

6. 外国人技術者: なし

7. 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパールの丘陵地帯は気候条件がして柑橘類栽培の適地であり、そこで栽培される果樹のうち柑橘類の占める割合がかなり多い。地元農民は現金作物としての柑橘類の市場価値を認め、栽培に着手している。

ネパール政府はこのような状況のもとに丘陵地での農業開発として柑橘類に重点を置く方針を打ち出したが、もとより地元農民に技術的専門知識がないため計画通りの収穫には及んでいない。農民に一通りの技術を身につけさせようにも、当国に柑橘類栽培を指導できるだけの農業技術者が不足していることが問題である。そこで、JOCV の先進技術を導入し、本計画を促進した。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): い という農業局の意向で、協力隊員が要請された。

農学系 (果樹) 卒。実務経験 3 年程度。

実際に果樹園で柑橘類栽培をしている (した) 経験の有る者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10303 果 樹

記入昭和 5 年 9 月 15 日

調査者氏名 柴田好文 (柴田 4277)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) Pomology	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 果樹	(女) 人	派遣予定 81 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform.

(日本語): 農業農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agricultural Research (ドクマ中央農業試験場)

所在地: Douma 村 主要都市からの距離 (ドクマより 20 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 3階建てビル 2むね。付帯農場 約 1.5 ha。インストラクター 約 40 名。

他 7-カー 30~40 名。年完成し大規模。植物環境制御室。写真別添。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: (リンゴ) おかほ (モモ, ナツタンゴ, アフリコット, アズ) の 台木, 接木, 土木に肉する試験及び剪定方法に関する試験研究にたずさわること。 (リンゴ) と核果類 (モモ, サクラホ, アフリコット, アズ) の 部門はチームが合弁しており、隊員自身で属する部門を自分で選択している。

① 隊員の業務上の地位: 研究員 ② 技術の範囲: 上記の分野にかんじ、専門家に近い技術水準があることが望ましい。本試験場は研究機関としてかなり確立されているので試験・研究技術上或いは知識をもっている必要あり。③ 業務の形態: 本試験場では上記のテーマについて試験・研究はスルカヤ、テラ、スベイク等の地元の支場に出張して行なう。上司とやり取りの研究テーマ取り決め結果を報告してビル内の研究ラボにて試験を行う。④ カタログ: リンゴの場合、英語の語彙男性インストラクターと働く。他女性インストラクター 2 名いるが英語語彙、テーマは英語解る。核果類の場合、テーマは英語、仏語と語彙も人と相談しながら働く。現在核果は果樹セクションの主任とやっている。他男性インストラクター 1 名、女性インストラクター 2 名 (中 1 名英語話) いる。⑤ 現地で利用される材料: 果樹セクションの実験室一部を設備しており、材料にかんじは隊員報告書 No. 2 の詳述。⑥ 他国の専門家: 或は専門家は配置されていない。

⑦ 使用する言語: 全くアビシ語でやるのが望ましいが、十分できるものならば 5 年以上は必要ない。英語と至ってアビシ語の向上に努める。アビシ語はよくしゃべれる程、取組関係がよくなる。英語のうまい人は限られているので、英語だけではいくらも面で難しい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

リンゴ、核果類については、果樹の中でも現在新植熱が比較的盛んで生産増加が期待されている。今後の発展のため、カルシウム土壌、ネマトダ、虫害に耐性をもつ台木の選抜、シリアに適した繁殖法・剪定法の開発普及、特にリンゴでは雌性台木の導入等の問題解決が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(大学 (農学部)) 上記の業務内容にかんじ 2 年以上の実務経験があることが望ましい。又農業試験場でのテーマの研究にたずさわった経験をもっているのが最適。なお、そのテーマについての実務経験は試験場にて研修を受けるつもり。上は業務内容と適宜の経験者に限る。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

10303 果 樹

調査者氏名 ^{在パラグアイ国} 海外駐在員 望月 久 31

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) FRUTICULTURA	(男) 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 果樹 (一般)	(女) 人 (どちらでも可) / 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Presidencia de la República

(日本語): Secretaría Técnica de Planificación

ロ. 隊員勤務先名称: Centro de Desarrollo de la 日本語名称 (地域開発センター)

所在地: Paraguari | Comunidad (CEDECO) 主要都市からの距離 (首都より 80 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

企画庁が主唱する地域開発計画の一環として、パラグアイ果樹産出地域のカカエロ地区がモデルケース指定され、地域住民の生活向上、インフラ整備等を当面の目標に、1980年から各種事業が推進されることになっている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 普及指導員

② 技術の範囲 - 「農民に対する果樹(一般)の技術指導」

現在農民の栽培しているものは、グレイプフルーツ、ミカン、パイナップルなどであり、きちんと管理された形で、はたらく自然のままの形態が殆んど。従って栽培技術、管理等の基本から指導することが求められる。
(小規模か)

③ 業務の形態 - 企画庁が上記計画推進に当たって、適性農業分野として考えられている(の?) 状態は未だ初歩的段階であるが、現況を改善しつつ、小農家の収入向上につながる意向も有する為、巡回指導を、上記「技術の範囲」を実施することになる。

④ 対象者及技術水準 - 一般農家の対象 技術レベルは初歩的段階と考えて良い。

⑤ 利用できる機械 - ほとんどなし <必要最少限の機械提供>

⑥ オブ国人等の配置 - なし

⑦ 使用する言語 - スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本計画は 1975 年以来政府部内で各種予備調査が行われ、1980 年より実施に移されているものであり、いわゆる「パイロットプロジェクト」的性格を有するものである。近年、国内開発計画との関連もあり、地方農村の産業、住民の生活向上が模索されている現況下において、本計画の推進成否は、他の計画にも影響を与えることになり、我が国協力に多大の期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は内務ない。 ○ 実務経験 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

104 工業(作物)

記入昭和54年 4月 20日

調査者氏名 大峯 保広

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	現地公用語) ESPECIAS	(男) 人	訓練開始 年 月
	日本語) 香辛料栽培	(女) 人	派遣予定 80年 2月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de AGRICULTURA y GANADERIA			
(日本語): 農牧省			
ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION de INVESTIGACIONES 日本語名称 (農業調査局)			
所在地: AGRICOLAS 主要都市からの距離(ホセより) 200キロ			
ハ. 事業規模及び内容: 多目的ダム(農業及び電力)の建設により水浸した農家を ダムによりできた ARENAL 湖の周辺に移転させ農業。 走着仕かけるプロジェクト			
ニ. 設備概要:			
(2) 隊員の業務内容: 隊員の仕事は、同プロジェクトにおける実験農場で DIMIENTA, ACHIOTE (アチオテ) CARDAMOMO (シメジク) 等の実験栽培を行うとともに農家への普及指導を行う			
① 隊員の業務上の地位 : 香辛料栽培普及指導員			
② 技術の範囲 : 熱帯における香辛料栽培技術全般、 当地に適した香辛料の調査研究			
③ 業務の形態 : 一般農家を対象とした普及指導、実験場 での調査、苗栽培			
④ 対象者及びカウンターパート : 一般農家対象、カウンターパートは未定			
⑤ 現地で利用できる機材 : ハンドトラクター等			
⑥ 職場におけるオス国人及び専任者等 : 現在いない			
⑦ 使用言語 : スペイン語			
3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
当国における農村開発プロジェクトの大きな柱となる。2 農家に対し香辛料栽培の走着仕を期待している。			
4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
○ 大学農学部卒 ○ 香辛料栽培、2年以上の実務経験			
○ モレ2年以上の経験がない場合 大学に於て熱帯香辛料 について研究をした人			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 きのこ
105 きのこ

記入昭和 57年 11月 21日
調査者氏名 渡辺直明
山本泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 55年4or6月
	(日本語)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年8or10月 受入期限 5年10月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation 1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture. (日本語): 食糧農業灌漑省 農業局 2. 隊員勤務先名称: Division of Plant Pathology 日本語名称 (植物病理課) 所在地: Khumaltar, Lalitpur, Kathmandu 主要都市からの距離 (カトマंडゥより 6キロ)			
3. 事業規模及び内容: 将来の National Agriculture Research Center に予定されており、現在同敷地内には次の各課がある。Entomology, Soil Science & Chemistry, Botany, Agronomy, Vegetable, Potato, Veterinary, Agricultural Machinery. 4. 設備概要: 栽培に必要な菌の培養に関する器具は一通り揃っている。			
(2) 隊員の業務内容: 前任隊員のを引き継ぎ、同配属先においてキノコに関する栽培、研究、調査、普及等を行う。			
① 隊員の業務上の地位: Gazetted III Class Officer (3等級(任官)相当) ② 技術の範囲 (A) 菌の純粋培養と種菌製造及び供給 (のりたけ、ふくらたけ、からたけ、まきたけ、なめこ、えのきたけ) ③ 業務の形態 (きくらげ etc.)			
(B) カマンス盆地におけるシイタケの栽培実行可能性調査 (C) ネパールの気象条件下における「ふくらたけ」の栽培可能性調査 (D) なめこ、えのきたけ、まきたけの試験的栽培 (E) からたけのつら栽培と短木栽培の営利栽培方法の研究 (F) ネパールにおけるキノコの在来種の調査、採集、分類及び保存。 (本年度は実施していないが計画はある) (G) ネパールにおけるキノコの目録作成 (H) つらたけの経済的(営利)栽培方法の研究(採算面も含む) ⇒ ほぼ終了			
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Miss Bannu Pandey [M.Sc Botany, Specialization in Plant, Vikram University, Ujjain, M.P. India. Pathology 経験13年 1966~1979] Mr. Nara Hari Khadka [I.T. 農業一般につき経験12年]			
⑤ 現地で利用できる機材: 写真集参照 (A532.28, 雑誌52-264号にて送付)			
⑥ 取場における3個人、渡辺隊員(A55.8~55.8)が協力活動を行っている。本要請は同隊員の交替である。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ① 使用語言語: ネパール語、専門用語は英語、キノコ名は学名で知ってネパール国におけるキノコ栽培の基礎研究は1975年度から始めているが、近年農民も興味をもち、おくと。を示してきていることから、現金収入源として商品化するための技術のノウハウについて農民に対するキノコ栽培の普及、奨励を主目的としたデータ収集を始めた。従ってこの種類のキノコが栽培方法も含め商品化に有利であるか更に調査、研究する必要がある。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 業務の形態は研究室型であり、技術の範囲は広範にわたるが、隊員の業務内容はシイタケ栽培を主として他のキノコ栽培及び菌の培養、種菌製造が出来る者。従ってキノコ栽培、経験年数は2-3年、学歴は大卒以上が望ましい。			

〈渡辺直明隊員交替〉

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 きのこ

記入昭和 54 年 9 月 日

調査者氏名 阿部 裕子 松原 邦義

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
217.737 共和国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Agriculture & Agrarian Reform*
 (日本語): *農業農村改革省*

ロ. 隊員勤務先名称: *Directorate of Scientific Agricultural Research* (日本語名称: *農業試験場*)
 所在地: *ドマ (Doma)* 主要都市からの距離 (約242) 20キロ

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: — FAOが資金援助した、217に於けるマッシュルーム栽培施設に "Mushroom production Specialist" とし協力する。
 — 732年 Somyel Co. から i) Mushroom 普及のためのマッシュルームの種菌の調製、ii) 種菌の調製、iii) 技術情報から得られた、iv) マッシュルーム栽培施設の調査、等、今年度の70327の調査、またこの中の技術者の短期間派遣される。
 — その中で、この試験場: 種菌を培養する土に種菌を放りかけることと関係する。
 — 同試験場の food technology sectionに配属される。4-7の Mr. Omer は マッシュルーム全般の知識と経験のある P44の一年目留学生である。英語の調査は可能。
 — この人物の協力に 217人技術者の 実際の217(通称) 種菌培養、生産販売の23254と関係 (今年度、高品質のものに上向きなもののマッシュルームの栽培、がこれと関係する。apple 7307の52年)。
 — 必要最小限の equipment はある。
 — 言語: 英語、アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 実務経験を年以上 フレッシュマッシュルームの調製 (種菌の調製) に関する知識、実務経験を有する。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農 業 土 木

記入昭和 54 年 4 月 24 日

調査者氏名 金城光男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マニラ	(現地公用語) Agricultural Engineer	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Drainage & Irrigation Dept (DIO)			
(日本語): 農業省, 灌漑排水局			
2. 隊員勤務先名称: 川 DID 事務所 日本語名称 ()			
所在地: 未定 (隊員の履歴参照の上) 主要都市からの距離 (より キロ)			
3. 事業規模及び内容: 川 DID は本部 (K.L.) と密接な連携の下に、川内の農業構造改善に因りる諸プロジェクトの計画立案実施、及び既存水利施設の管理、維持に係る業務を司る。			
4. 設備概要:			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 業務上の地位: DID 川事務所には配属され 所長を補佐する。			
2. 業務内容: 1) 小規模灌漑プロジェクトの計画立案 2) 建設施工監督 3) 完成後の維持管理 4) 入札用資料の作成 5) 測量 等が隊員に課せられる業務であるが、隊員の経歴能力等により、分担業務の具体的内容が決まらる。			
3. 使用する言語: マニラ語を履習する事が望ましい。(但し技術者間では英語が多用される。)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 才了次 54 年計画南連事業の円滑実施に必要の要員として DID 技術者の不足を補う先達要員ではあるが、日本の進んだ農業土木技術の応用を期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○ 大卒・農業土木専攻 (実習経験 2 年以上) [Engineer 等] 資格が必要のため大卒が望ましい			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農 業 土 木

記入昭和54年9月12日

調査者氏名 金城 光男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	農業土木	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Drainage & Irrigation Dept. (DID)
 (日本語): 農業省 灌漑排水局

2. 隊員勤務先名称: 州 DID 事務所 日本語名称 ()
 所在地: 未定(隊員履先参照の上現地選定) 主要都市からの距離 () キロ

3. 事業規模及び内容: 州 DID は 左に本局の監督下にある、2 州内の農業構造改善に關する諸プロジェクトの計画立案調査施工監督、および既存水利施設の管理維持に係る業務を司る。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位:
 DID 州事務所へ配属され 所長を補佐する。

2. 業務内容:
 1) 小規模灌漑プロジェクトの調査 計画立案
 2) 建設施工監督
 3) 水利施設の維持・管理
 4) 入札用資料の作成
 等が隊員に課せられる業務であるが隊員の経験・能力により、2 担当業務の具体的な内容が決められる。

3. 現地で使用できる機材:
 測量器具等一応完備。

4. 使用可能な言語:
 マレー語履習が望ましい。但し技術者同は英語が多用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

第 5 次 5 年 計画 関連事業 及び 第 4 次 計画 の ための プロジェクト 策定 等に 必要 な 要員 として DID 技術者 の 不足 を 補う。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 農業土木専攻 実務経験 2 年以上

(Engineer という資格が必要なため大卒が望ましい)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 10 日

120 農 業 土 木

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	Agricultural Engineering	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと
120 農業土木			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation, (BADC)
 (日本語): 農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Project X ADE Division 日本語名称 (プロジェクト・農業開発農場部)
 所在地: Dacca 主要都市からの距離 (Daccaより市内キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同部門傘下に4カ所の農業開発農場 (Agricultural Development Estate [ADE]) をカンピール, シヤール, ラジハト, ポテपी=持つ。220 エーカー程度。

ニ. 設備概要: それぞれの ADE に深井戸 (2 キューセツ) 鶏舎, 事務所, 農業機械を有する。

(2) 隊員の業務内容: 公社傘下に種苗生産圃場, 農業開発農場等があり, それらの水管理に関する業務にあたる。特に4カ所の農業開発農場に野菜隊員があり, それぞれの農場拡張に伴って用水路建設が主業務となる。

1. 隊員の業務上の地位: 4 農業開発農場を統括する責任者の指示に従う。
2. 技術の範囲: 主に各農場の深井戸ポンプより汲上げた水を 10 エーカー規模の範囲に末端水路を建設し, かんがいする業務。場合によっては野水池建設によるかんがいも考えられる。設計, 施工にあたる。
3. 業務の形態: 各地の要請に基づき, かつかり出向く形式となる。施工は業者が行うので, 設計, 見積, 監理にあたるので, 1カ所に何ヵ月か滞在し, 他のアドバイスに出向き, 戻るといった形となる。
4. 対象者およびカウンターパート: 土木の直接のカウンターパートはいない。野菜隊員・場長と相談をしながら, 業者を指導するにこになる。
5. 現地で利用できる機械: 押し, 測量器具等の持参の必要性あり。
6. 取場における外国人等: 4 農場に栽培関係隊員 4 名, 養鶏プロジェクトにクリスチヤン系団体。
7. 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

土木専門知識のあるアドバイザーが, 拡大方向にある農場の水利整備のアドバイスに隊員に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 1月 10日

120 農 業 土 木

調査者氏名 駒澤 彰夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 2人	訓練開始 55年 10月
	(日本語)	(女) 1人	派遣予定 56年 2月
	灌 漑	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 風 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Division, Ministry of Agriculture
(日本語): 農業者人材開発局

2. 隊員勤務先名称: Ministry of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)
所在地: ILONGA 主要都市からの距離 (kilosより 9キロ)

3. 事業規模及び内容: 農業技術者, 農業普及員の養成機関
2年制の Certificate 課程 (現在生徒数 74人) 及び Diploma 課程 (同 29人) 全寮制。教師 28人, 事務・農場労働者等 90人

4. 設備概要: 教室, 学生寮, スタッフ住宅, 農場 (6ha)。Iranga 農業研究所と隣接しているなどの設備を利用して授業することもある。教材は不足気味。

(2) 隊員の業務内容: Certificate 課程の生徒に対し、各種小規模灌漑に關する計画, 設計, 施工法を講義・実技で教える。他に Land Use 関係教科おぼろから灌漑農業, 測量, 土壌学, 土壌及水の保全, 作物保護 などのうちいくつかを兼修することになりと学校側は望んでいる。

① 教官

② 灌漑に關する理論及び技術は必須。他に作物, 水利, 土壌学などの基礎知識を有すること。

③ 赴任後 隊員の能力に応じ、現地人教官と分担して担当教科が決まる。

④ 生徒は Secondary を出た 20才前後。農業について系統たつた知識はない。農業全般の履習が目的であり、専門的に深くおぼろは基礎的かつ幅広い知識, 実地教育に重点を置いている。

⑤ 教材, 校材は一部揃っているが、質量ともに不足気味。

⑥ オランダ ボランティア 2名 …… 80年 9月 帰国予定
JOLV 1名 …… 農業技師 81年 10月 3日
JOLV OG 1名 …… 栄養学 80年 6月 着任予定

⑦ 英語 (スワヒリ語は現地に入ってから勉強することにする)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1972年 Iranga Research Institute と併設され現在に至る。1976年 5月の新教育改革により灌漑関係科目を含めた現在の全国共通カリキュラムとなった。76年に協力隊に対し要請があったが派遣出来ずにいたところ、改めて Land Use 関係教師の不足から是非とも派遣願いたい旨再要請を受けた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業一般のカリキュラムの中での灌漑科目教育であり、専門的に工事を担当することはない。農業を背景とする農業土木専攻者(2)③に合致する者。

○農業短大卒以上で 経験 2年 ○英語及び測量技術

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 18 日

120 農 業 土 木

調査者氏名 福田武司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マウリ	(現地公用語) IRRIGATION ENGINEER	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 4人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE & NATURAL RESOURCES

(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: IRRIGATION BRANCH 日本語名称 (灌漑部)

所在地: 本部 LL 主要都市からの距離 (BTより350キロ)

ハ. 事業規模及び内容: マウリ全土のイリガショナルシステムの設計・施工・現場管理維持。

ニ. 設備概要: 車輛、建料を除く本部備品としてドローイングボード及び付属材料器、図面、首洗料、コンピューター、測量器具、WILD製(5ト詳述)パングラフ、実体視鏡等がある。

(2) 隊員の業務内容:

イ. 現場勤務の場合

農業灌漑に関するすべての業務

ア. 人事管理、工事管理、工程管理、出稼高調査、跡場付車輛、建料管理。

イ. 工事の種類 取水工(余水工、頭首工) カナル工、排水工、プロテクションバンド工、農道建設。

ロ. 本部勤務の場合

積算見積、設計製図、跡場維持管理のための調査。

今迄の例では上記イ、ロ、いずれの場合にせよ任期一年、本部勤務又は現場付といふことはなくある期間をもって交代している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

石川森、熊谷、金森、吉田(修)隊員後任

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学土木科 又は 農業土木科卒 2. 経験3年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 20 日

120 農業土木

調査者氏名 林和昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Lirigation	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labour, Youth and Sports.

(日本語): 労働、青年、スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: National Youth Training Center 日本語名称 (国立青年訓練所)

所在地: Bantol

主要都市からの距離 (首都より 33 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

若業者育成のための職業訓練センター

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位; 指導員

② 技術の範囲; 木工、指導、カリキュラム策定 全般的農業知識

③ 業務の形態; 訓練所内で校長 他スタッフと共に指導員として実技指導に従事する

④ 対象者及びターゲット; 研修生 約 100 名 (1 期由) に対象とする

⑤ 言語; 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

多くの期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

特以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

121 農業機械

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Rice Processing	(女) 人	派遣予定 56年 月
	(日本語)	農業機械(精米技術)(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Agricultural Credit Administration (ACA)*
 (日本語): *農業信用機構*

ロ. 隊員勤務先名称: *Compact Farm Cluster* 日本語名称 ()
 所在地: *Balingu Bulacan prov.* 主要都市からの距離 (マニラより 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *Compact Farm* 2 生産した米を 玄米で保蔵し、
 有利に市場へ出荷しなくてはならない。市場は国内
 内は勿論のこと、海外への輸出入も考えを構想している

ニ. 設備概要: 別紙(英文)は、その詳細である。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: *ACA* 所属の精米加工技術者

技術の範囲: 精米加工一般に於ける知識及び操作技術

業務の形態: 送り出し *Compact Farm* の *X-1* - *B* の *Perfarm* に
 対する精米技術の指導

対象者及びそのカテゴリー: 技術水準、年齢及び年令
Compact Farm に関係する農民及び *Confarmer* であり
 年齢は 20歳 ~ 50歳、その精米技術に
 関心をもつ者を選び、技術指導を行って行く。

現地で利用出来る機械: *Rice Mill Complex* を中心に設置してあるが、
 必要機械は撃入する予定 (*Rice Mill* は日本製の
 予定)

職場に在りて居る日本人、及び日本企業内務の配置状況
 ; 入隊者の *Volunteer* が全体の計画立案者として参画
 の予定

使用すべき言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *フィリピン* に在りて米の生産は順調に伸び、輸出入
 可能と見られている。その一つの柱として見られているのが *Compact Farm* に在りて *ACA* の
 生産指導がある。今後の課題は、有利に市場へ出さなければならない。そのための
 一試みとして *Rice Mill complex* を設立し、玄米に在りて貯蔵しなくてはならない。日本に在り
 ける米の貯蔵方法を高く評価しており、隊員に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 農業工学 又は 工学系 大学卒業生 当該分野に在りて経験 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 10 日

121 農業機械

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 12) 農業機械	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management.

(日本語): Ministry of Agriculture. 農業省農業普及管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Nator Agriculture Extension Training Institute. 日本語名称 (ナール農業普及員養成所)
所在地: ラジビヒ県ナール郡 主要都市からの距離 (ダカより 200 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員と養成する政府機関。全国に 80 所あり。30 所建設中。80 年よりスタートする 5 年計画に世銀の援助を得て計 200 所とする予定。校長、教官、職員等約 20 名、生徒数約 150 名。

ニ. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、農場 22 エカー、トラクター。

(2) 隊員の業務内容: 2 年制の農業普及員養成所で、農学 I、II、作物保護、農業機械、農業普及、園芸の 6 教科があり。隊員は農業機械を担当し、主に実技指導にあたる。

1) 隊員の業務上の地位: 教官

2) 技術の範囲: トラクター、耕耘機その他ポンプ、簡単な測量実習と含まれる。80 年 1 月に世銀より新しいトラクター等が援助され、その維持管理も必要となる。

3) 業務の形態: 学生のカリキュラムに基づき実習時間を担当する。その他周辺農民への手押しポンプ貸去プロジェクト等にも加わるため、巡回指導もある。

4) 対象者およびカウンセラー: 生徒は 13~20 歳で初めて農業を学ぶ。カウンセラーは教官で卒業 2~3 年、平均年齢 26 歳程度。

5) 現地で利用できる機械: 農業機械類は大型の物はほとんどないが、土に設備はとろとろ。

6) 現場における外国人等: 稲作、園芸隊員のみ。

7) 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語、校長、教官等とは英語も必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中沢敬夫隊員交代、バングラの発展は農業、農業発展には普及員育成との目的で決定し、施設は世銀援助、教育の再教育は JICA の CERDI プロジェクト、現場指導は協力隊という形態とっており、4カ所の養成所に勤務中。昭和 48 年以來隊員が続いでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部卒業。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年6月22日

121 農業機械

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) / 人	訓練開始 52年10月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 53年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限53年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management),
(日本語): Ministry of Agriculture 農業省農業普及課
2. 隊員勤務先名称: Gaibandha Agriculture Extension 日本語名称 (ガバンダ) 農業普及課養成所
所在地: Training Institute (ガバンダ) 主要都市からの距離 (ガ)より300キロ
3. 事業規模及び内容: 農業改良普及課と養成所政府共同である。現任11年生、又毎年合計で7100名の男子生徒がいる。敷地総面積は98エーカー、初中耕地面積は58エーカーを主として定習用に使われている。
4. 設備概要: 専ら教育専用舎、取付位置の地トラクター(7ボク26PS) 耕耘機(10PS) 脱穀機、洋井戸水(15PS)、マシンのバスター等所有している。

- (2) 隊員の業務内容: 卒業後は農業改良普及課に付くべき生徒に対して、農学I、農学II、作物保護、農業機械、農業普及、園芸の6課程の授業を行う。7月からは初中下隊員は、中央配属先で作成された指導要領に基づき、校長の指揮の下に農業機械を担当し、ベンガル語で授業が可能なものは主に定習を担当する。
- 1) 隊員の業務上の地位: 教官
 - 2) 技術の範囲: 農業機械の理論と定習および管理と改良について日本の農業高校で指導可能な程度の技術と知識
 - 3) 業務の形態: 当初は毎朝6時半から9時半迄行われ、定習の技術指導が主となり、授業が可能なものは午後2時迄行われ、授業を担当する
 - 4) 対象者およびカテゴリー: 生徒は高校卒業程度の学入時18歳~22歳の男子で、そのエリート意識を持っている。カテゴリーは大学卒業後40年前後が定年の面が弱い
 - 5) 現地で利用する機械: 上記設備概要のとおり
 - 6) 現場に於ける男子の人数: 勤務先には外人はJOCVの4
 - 7) 使用する言語: 生徒および周辺農民とは全てベンガル語で、校長、教官は英語も分かる必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガンバダAETIには昭和48年10月以来隊員が継続して派遣されているが、勤務先、配属先での相互理解と行っている隊員が必要不可欠の存在に感じている。特に農業機械は昨年11月以来隊員が欠けたため、当日教官は現場にはいないが、実際の整備、指導が弱く、交換強化のため要請が強く感じている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度が若干ある、その社会面会により遠大以上と卒業し、卒業後(一年以上)の業務経験およびベンガル語の両方を整備して行っていること。必要で農業に熱意を持ち、教官として生徒に教えることに抵抗のない人が望ましい。農業一般についての知識を持っていることは必ずしも必要ではない。